



卒業アルバムより

## 7組担任 塩野入 重徳先生



筆者：近影



卒業アルバムより

佐藤 徹郎

### ・・・ボンクラテツの弁明

● 今を去ること60年の昔。生来の傲慢と偏見から学業への努力を誇示する者を蔑視する一方、成績が人一倍気になる。私はそんなボンクラであった。評価は推して知るべし。

● 英語の試験で“envelop”の語義が問われた。いつものように自信はない。暫く考えた。

「そうだ、これなら分かる！」空欄を埋めた。

試験期が過ぎた最初の授業。久保田先生は苦笑しながら試験に言及された。

「問題の誤りを指摘した心算の者がいるようだ。“envelop”の語尾に“e”を補って回答しているんだ。脱字ではないのだがね。」一同爆笑。私も卑屈な笑いを笑った。

他に誰がいる。先生は私を一瞥もしなかった。



👉 英語担当の久保田先生  
(2組担任の2年次 戸隠バス旅行より)

● 授業の枕に、時に国際情勢に触れ、また美術を語る。東大出といわれる経歴もあって、私には畏敬若しくは敬遠の人であった。聞けば生徒の恋の悩みにアドバイスもしたという。

「誤りを正すなんて滅相もない。ダメもとです。これでナントかなりませんかって事です」そう言えていたら、私もアドバイスが貰えたかもしれない。

鬼籍に入られた先生は、今に変わらぬ俗物の弁明に苦笑されているだろうか。